

# 松崎社協だより

発行  
松ヶ崎社会福祉協議会

編集責任者  
関 口 力

# よつと助けて」と 言い合える地域に

松ヶ崎学区の皆様、こんにち  
は。私は左京区社会福祉協議会  
でボランティアに関することを  
担当しています。事務所は、左  
京図書館がある左京合同福祉セ  
ンターの三階にあります。ロビ  
ーではボランティア情報や福祉  
に関する情報を発信しています。  
松ヶ崎から足を運ぶには少し遠  
い場所ですが、電話でご相談も  
受け付けておりますので、お気  
軽にお問合せください。

今回は、松ヶ崎学区の方とふ  
れあつて感じたことを書きます。  
私のような若輩者が筆を執らせ  
ていただくこととなり大変恐縮  
しておりますが、お付き合い

今回は、松ヶ崎学区の方とふれあつて感じたことを書きます。私のような若輩者が筆を執らせていただくこととなり大変恐縮しておりますが、お付き合いただければ幸いです。

昨年の秋、松ヶ崎にお住まいの高齢者の方から区社協にご相談がありました。一人暮らしの男性で、「年を重ねてきて、だんだん身の回りのことがしにくくなつてきている。困つていることは色々あるが、今回は電球の付け替えをお願いしたい。自分ではできないので、助けてほしい」という内容でした。

日程調整をして、学区社協の役員さん達と一緒にご自宅にうかがいました。身長一五〇cm強の自分が精いっぱい背伸びしても

届かない高さに電球はあります。腰が痛くてふらつきがあるこの方にとつては、電球の付け替えは大変危険な作業でした。学区社協の役員さんの手早い作業であつという間に電気が点き、一同ホッとしました。

さて、作業を早々と終えてからも、男性のお話は止まりません。今までの人生の話、家族の話、これまで頑張ってきたお仕事の話……お聴きしていただかつていう間に時間が経ち、また

何かあればご連絡ください、と  
ご自宅を後にしました。このよ  
うな「おしゃべり」をする人を  
必要としている方も多いのだ、  
と改めて感じた一日です。  
書いてみると、本当に「ちょ

つとしたこと」、かもしだれません。それでも、いつかは困難になるのです。電球の取り替え、ごみ出し、家具の移動、針仕事。。。これまで当たり前のようになっていたことができなくなつた時、自分が一人暮らしだったら。。。想像すると、不安や恐怖が押し寄せてきます。困つてい

ることを声に出して誰かに頼む  
のこと自体、とても勇気がい  
ることである、とも気づきます。  
高齢者の方を日常的に訪問し  
こういった困りごとに気づいて

区社協につないでくださつて、  
る地域のボランティアの皆様や、  
大原地域包括支援センターの皆  
様には心より感謝申し上げます。

大事に思っている人が集まっています。この地域に足を踏み入れるといつも、心のあたたかさを感じています。

お一人暮らしの高齢者がどんどん増えています。思うように体が動かないもどかしさを感じているのは、高齢者だけではありません。認知症になつても、病気があつても、住み慣れた地域で介護保険等のサービスを利用して暮らしていく時代になりました。周囲のサポートがあれば、地域で住み続けられる方が多くいらっしゃいます。介護保険の制度改革を間近に控えていますが、これからは地域での介護予防がますます重視されていきます。

今、松ヶ崎学区には、ちょっとした困りごとに対応する組織や相談窓口はありません。現在は、区社協や学区社協が、地域の皆さんと協力しながら対応させていただいていますが、前述のような相談は一件や二件ではありません。左京区内のあらゆるところで、様々な世代の方から相談を受けています。ちょっとした困りごとをお互いに助け合う活動が必要になってきていくと実感しております。

されています。仕事や家庭を持ちながら活動して、忙しくても地域の方の困りごとは放つておけない。高齢者だけではなく、子どもたちや地域全体を大切に

「ちょっと」のサポートを求めている方が増える一方で、サポートする人の数は十分でしょ  
うか。今、松ヶ崎学区では、た  
よつとした手助けができる人を  
募集して相談を受け付ける仕組  
みができないか」と検討されて  
いるところです。しかし何でも  
手助けでくるわけではありません  
。専門家や業者に頼むべきこ  
ともあり、様々なルール決め  
が必要となります。学区全体とし  
て取り組むには、今の学区社協  
ボランティアだけでは人手が足  
りません。「私は、お隣やその  
隣の家人くらいまでなら手を  
貸せるかも……」そう思っている  
方も少なくないと思います。宝  
年退職して何か地域の活動を始  
めてみようかなという方、元気な  
な学生さんもいらっしゃるかも  
しません。何か特技がある方  
なくともやってみたい気持ちが  
ある方、これから松ヶ崎学区  
に「ちょっと」お力を貸してい  
ただければ幸いです。

この松ヶ崎学区で、そこに住んでいる皆さん、「ちょっとと申けて」「いいですよ」と言い合える地域でありますように。私達もお手伝いさせていただきますので、今後ともよろしくお願ひ

左京区社会福祉協議会  
電話 075・723・5666  
い申し上げます。

# 敬老会

十月二十四日(金)

第十七回区民敬老会が、アピカルイ  
ン京都にて、まさに秋晴れのなか九十  
八名の参加のもと開催されました。

今回は、地域に多大な貢献をしてく  
ださった故西野信雄前会長への黙祷で、前  
始まり、関口会長は開会の挨拶で、前  
会長の遺志をついで松ヶ崎地区の社会  
福祉に微力ながら貢献したいと述べら  
れました。

ご来賓からは、左京区長鶴谷隆様に  
続き、自治連合会長岩崎猛彦様より  
それぞれ地域

の大切さについて  
の祝辞をい  
ただきました。

また来賓紹介  
の折には、地  
域の消防団へ  
の勧誘や、す  
こやか学級へ  
のお誘いなど  
がありました。



「昔は戦争中  
で遠足などな  
かつた」「運  
動会だけやつ  
たな」「そろ  
ばんは五つ玉  
やつた」「私  
の時は、教科  
書は上級生か  
らのお古やつ  
た」「戦後す

ぐで、国語の教科書は、墨で消した部  
分が多かつた」など、十五分ほどの短  
い時間でしたが、楽しい交流となり、  
なかには「来週の学芸会、是非観に行  
くからね」と微笑ましい約束が生まれ  
ました。

昼食は、三宅消防分団後援会会長よ  
り、西野前会長への献杯で始まりまし  
た。その後季節の果物やケークとコー  
ヒーのデザートまでの一時間、子供た  
ちと話し合った余韻を残し、みんなこ  
ども時代を思い出しながらかな歓談の  
うちにすごしました。

午後は、林顧問から、「松ヶ崎社協  
の回顧と展望」についてのお話があり  
ました。松ヶ崎は年寄を大切にする土  
地柄なので、敬老会をいち早く初め、  
小学校で開催した苦労話などを話され  
た後、老々介護の苦労などをいつもの  
ユーモアを交えて話されました。



そして次々と消えて……華やかに終わ  
りました。

最後は、吉田・井栗両先生のすこや  
か学級定番のクイズと体操で頭と身体  
をほぐし、村上副会長の閉会の挨拶の  
後、みんな笑顔で解散となりました。

# 区民運動会

十月二二日(日)

台風十八号により一週間遅れて小学  
校の校庭で開催されました。この日も、  
台風十九号の接近が心配されましたが、  
老若男女参加のもと、和やかに無事に  
終ることができました。

社会福祉協議会の役員は、例年のご  
とく売店を手伝いました。涼しかった  
せいで、飲み物は昨年ほど売れません  
でしたが、メロンパンやおにぎりがよく  
売されました。主催された松ヶ崎体育  
振興会の役員の方々、お手伝いの各種  
団体のみなさま天候にありまわされて  
大変だったと思いますが、今年も楽しい  
区民運動会をありがとうございました。



①ウナギに串をさすと何になる? ②  
卵と玉子の違いは? ③完勝、圧勝、  
快勝、辛勝、勝ち方の強い順は? 〔解  
答〕①ウサギ ②卵は調理前、玉子は  
調理後 ③圧、完、快、辛の順〕

二時間目の健康講話では簡単にでき  
る介護体操を行い、「常在菌」の話を  
伺いました。常在菌は増やさず、そし  
て減らさないようにとのこと。うがい  
は食塩水くらいです。傷は真水でよ  
く洗うようにすること。ウイルス  
感染予防のため、うがい、手洗いの励  
行を心がけがけましょう。そして山口  
さんから、良いものを食べ、無理の無  
い運動をし、よく眠るというよう条の  
お話を伺いました。そして健康チエツ  
クを行い、お楽しみの美味しいお弁当  
を頂き、一時のティータイム。

午後のお楽しみは、京都マジックク  
ラブ会員の古村様によるマジックショ  
ーです。ひも、ハンカチ、花をつかつ  
た不思議なトリックに??:の連続で  
す。最後は本物の鳩が四羽も飛び出し、  
紹介や算数と国語の教科書を見せて  
くれました。

# すこやか学級

十一月二十一日(金)

工芸繊維大学の銀杏並木は目映い  
黄金色に。見渡せば山々は色鮮やか

に。本当に自然豊かな松ヶ崎を実感で  
きます。当日は新入生御二人をお迎え  
し、十五名御参加下さいました。学級



に木の長椅子が並べられています。お台所では、大鍋にお野菜やお肉をたっぷり入れたお雑煮や小豆を焚いておぜんざいの味の吟味がされて辺りに美味しい匂いが漂っています。

館内では、学童クラブのお友達二十名が、お揃いの黄色いTシャツの上に紫の襟をキリリと結んでリハーサルに励みとてもかっこいいのです。

十一時三十分。お楽しみ会の始まりです。最初は松ヶ崎社会福祉協議会の関口力会長の御挨拶で「お餅は、古来より日本のお目出度い時に食べられる食品なので、今年が、よりよき年になる様にたくさん召し上がってください」として。次いで学童クラブのお友達による歌と踊りです。みんな裸足になつて、寒さも吹き飛ばすほど元気で、息も合つた見事な、「京炎そでふれ」を披露してくれました。

お腹のすいたところでお昼です。各自持参のお碗とお箸を持ってお庭に準備されたお餅、おせんざい、黄な粉餅、お醤油海苔餅の四か所に並びました。この頃には大勢の保護者の方々も見えてお餅がどんどん平らげられていきます。大人に手伝つてもらい、お餅つきをする子「七個も食べたよ」と自慢する子みんな暖かい日差しの中



で二コニコです。用意した餅が、足りないかな? と心配するほどでした。

一時三十分、館内に移り五名の和太鼓サークル「我楽」

のみなさんによる、出し物がにぎやかに始まり、まず勇ましい太鼓です。その後に近寄つてくる獅子の迫力に前に座つて見上げている子供達はたじたじです。暫く踊つてぱつと中から現れたのはなんと児童館の渡邊先生で子供達がビックリ、わーっと大きな歓声が上がりました。それからは獅子に私も私もと頭を囁んでもらつたり、手を差し伸べたりと先生獅子は引つ張りだこでした。三人揃つての南京玉すだれや、希望者には順番に太鼓も叩かせて貰いました。太鼓の音とみんなの応援を受けた。ほつそりした川崎先生が六十キロ?もあるという米俵を見事持ち上げに成功、拍手を貰いました。午後二時過ぎ、約二百名の御参加を頂いた会は盛況のうちに終わりました。



## 左京区 社会福祉大会

十一月十八日(火)

京都大酒店

於 京都ホテルオークラ  
一月六日(火)  
当会は三部構成となつており、第一部においては、顕彰事業として、京都府長表彰・京都市社会福祉協議会会長表彰が行わられ、松ヶ崎からは、古谷佐代子さんが表彰されました。おめでとうございます。第二部では、帝京大学

## 京都 社会福祉大会

京都大酒店

当会は三部構成となつております。第一部においては、顕彰事業として、京都府長表彰・京都市社会福祉協議会会長表彰が行わられ、松ヶ崎からは、古谷佐代子さんが表彰されました。おめでとうございます。第二部では、帝京大学

六年度左京区社会福祉協議会「こころのひとりぼっちをなくそう応援プロジェクト助成」に申請。三万五千円の交付を受けた。当助成により、「フォトプリントサービス」を実施。これは、そこやか学級において毎回行われる工作の作品を、作者と共にデジタルカメラで撮影し、その場でプリントして提供することにより、参加者の記念碑として頂く試みであり、手前味噌の所見として、それを得ていると思われます。こうした場づくりを提供して頂いた関係者各位に改めて感謝の意を表します。

## 助成金事業 フォトプリント サービスの実施

林 久 雄	古 谷 佐 代 子	岩 崎 梅 原 慈 子	岩 崎 洋 子	関 口 力
▽編集委員△				



印刷所

有限会社 章美プリント  
〒601-8441  
京都市南区西九条南田町41  
TEL 075-691-1624